

SH マーク申請における注意事項およびお願い

1. 運営規定

1) P5 付則(2) 登録申請自社型名

登録申請機器の外観色や梱包方法や同梱品（金具やケーブルなど）が違うため自社型名が異なるもの、また、前記の製品で自社型名を枝番号（符号を含む）などで自社型名を区別した製品は 1 型名とみなす。但し、代表自社型名を申請書に記載する事。

補足

① 登録申請書の自社型名欄に全ての製品の自社型名を記載して頂き、代表自社型名には代表製品 1 製品を記載してください。

また、この場合代表機種との具体的な違いについて、登録申請書の備考欄に記載してください。

<備考欄への記載例>

代表機種 A、機種 A-1、機種 A-2、機種 A-3、機種 A-4 の計 5 機種の場合

- ・ A-1 は梱包違い品（パック品）
- ・ A-2 は同梱品違い品（代表機種＋金具＋同軸ケーブル）
- ・ A-3、A-4 は本体色違い品

② 登録申請する機種の取扱説明書（又は施工説明書）の添付は必須です。

代表機種と共通の場合はその取扱説明書を添付し、代表機種と異なる場合は、代表機種以外の機種についても添付してください。（パック商品などの場合は台紙等でも可）

2) P10 付図1 スーパーハイビジョン受信マーク

補足

詳細および作成方法については、ホームページに掲載している「スーパーハイビジョン受信マーク作成マニュアル 第1.0版」を参照してください。

2. 運営細則

1) P20、P50 外観写真 (L 版以上) (アンテナ・機器共通事項)

外観写真は外観形状や色彩が明確に確認できる方向から撮影した鮮明なカラー写真 (L 版以上) とする。また、本体の SH マーク表示を確認できる写真も添付する。(ブースタの電源部の場合は、電気用品安全法に基づく表示が確認できる写真を添付する。)

補足

- ① 製品本体の外観写真は、L 版 (127×89mm) 以上で添付してください。
- ② 外観写真上に SH マーク表示はあるが、不鮮明となる場合は、外観写真とは別に様式 3 または様式 6 を使用し、SH マーク表示内容が十分に判別可能な写真を添付してください。
但し、外観写真上で、SH マーク表示内容が判別可能な場合は外観写真のみで構いません。

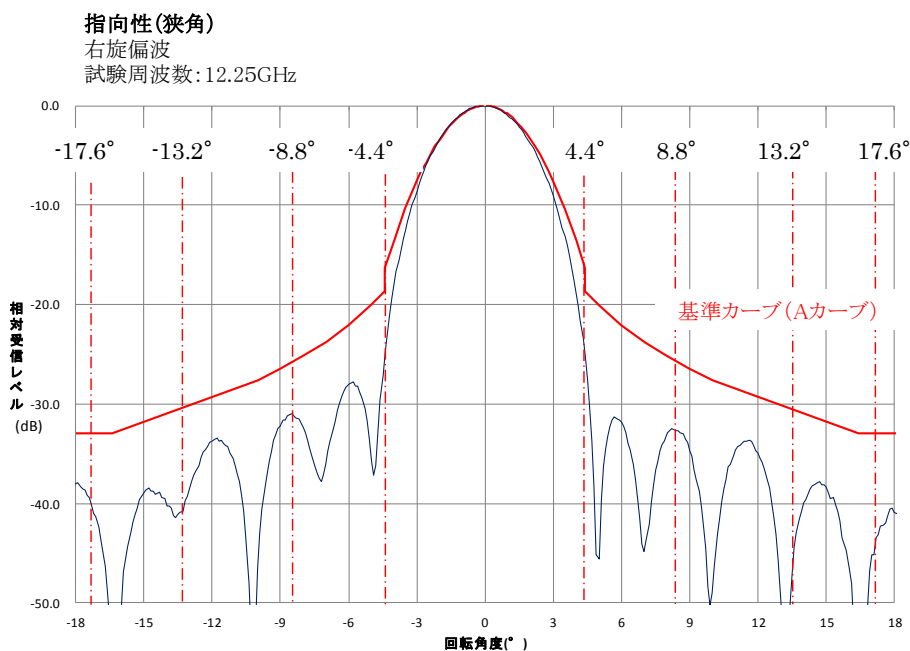
2) P29～P32 社内試験成績書 指向性データ (衛星アンテナ)

補足

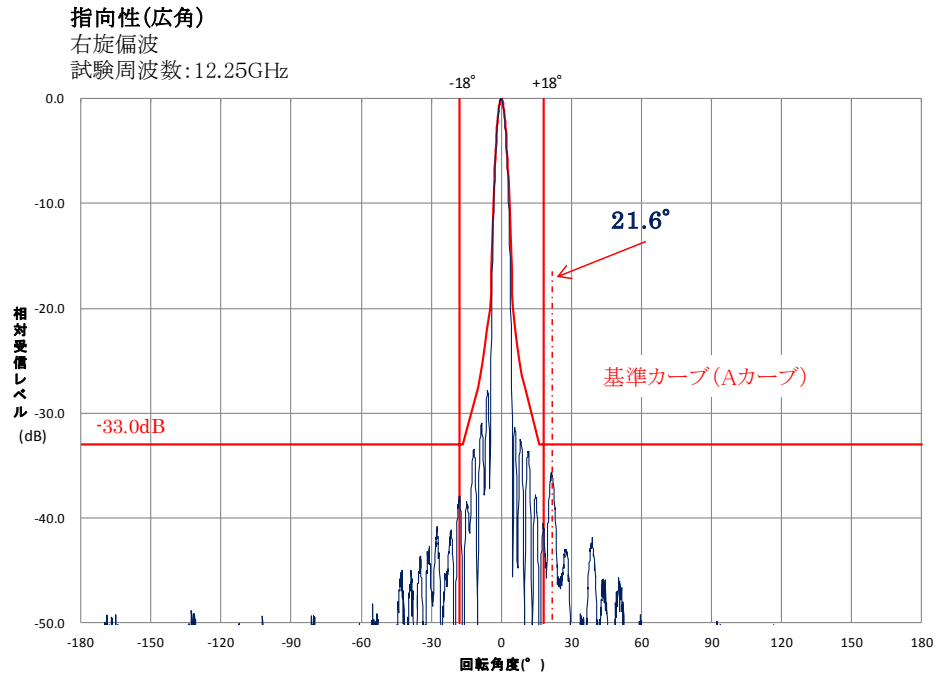
狭角の指向性データのグラフに記載する角度範囲は、 -18° ～ $+18^{\circ}$ として記載してください。

また、狭角グラフには測定点 (度) を示す表示を、広角グラフには測定表に記載した最悪値の測定点 (度) に印をプロットしてください。

指向性 (狭角) の記入例



指向性（広角）の記入例



3) P34 社内試験成績書 交差偏波特性測定表 (衛星アンテナ)

記入上の注意事項 (3) アンテナ有効口径に応じて測定点(度)の値を表4より算出し変更すること。

補足

有効口径および測定周波数 (11.7GHz、12.25GHz、12.75GHz) に応じ、離軸角度の範囲および相対利得を算出して記載してください。

なお、P33、P34 の社内試験成績書記載例は、アンテナ有効口径 45cm (B カーブ) と 60cm (B' カーブ) の場合の記載例です。

4) P35~P38 社内試験成績書 交差偏波特性データ (衛星アンテナ)

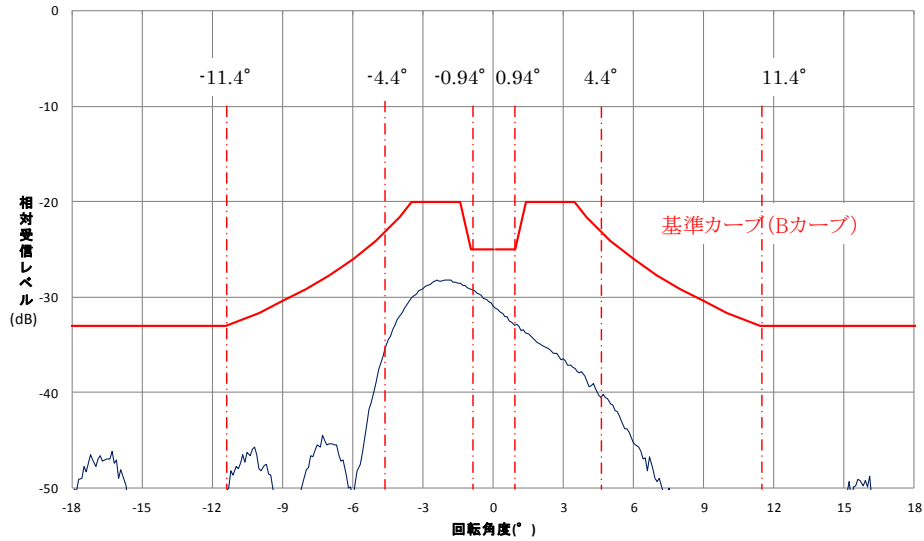
補足

狭角の交差偏波特性データのグラフに記載する角度範囲は、 -18° ~ $+18^{\circ}$ として記載してください。

また、交差偏波特性グラフにおいて、狭角グラフには測定点(度)を示す表示を、広角グラフには測定表に記載した最悪値の測定点(度)に印を記載してください。

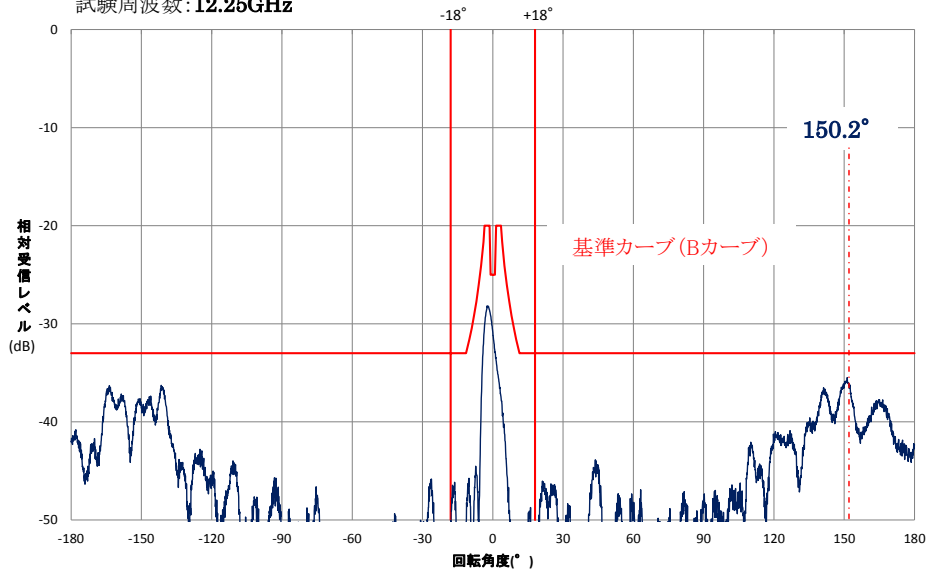
交差偏波特性（狭角）の記入例

交差偏波特性(狭角)
右旋偏波
試験周波数: **12.25GHz**



交差偏波特性（広角）の記入例

交差偏波特性(広角)
右旋偏波
試験周波数: **12.25GHz**



5) P54 記入例 社内試験成績書 ブースタ 測定表 (ブースタ)

記入上の注意 (4) チルトを有する場合は、その帯域と標準利得値(取扱説明書の値)を備考に記載する。

補足

「チルトを有する場合」の解釈は、利得特性にあらかじめチルト傾斜がついたブースタを対象としています。

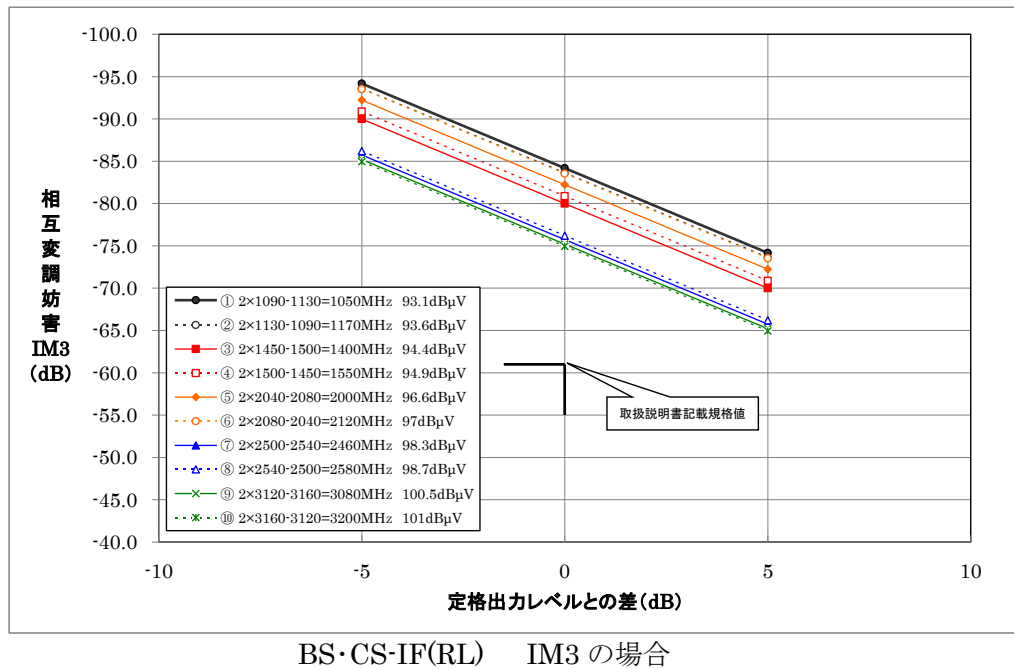
スイッチやポリウム等でチルト量を調整する場合のチルト量は含まれません。

6) P62,63,64 記入例 社内試験成績書 ブースタ 相互変調

補足

利得特性にあらかじめチルト傾斜がついたブースタの相互変調(IM2・IM3)測定データは、下記の図の様な記載をお願いします。

尚、各測定周波数におけるブースタの定格出力を必ず記載してください。



7) 機器の小数点以下の測定値の表記 (機器)

補足

基本的には、小数点第2位を四捨五入し小数点第1位まで記載する事となっておりますが、測定値によっては四捨五入すると、0.0 (VSWR は 1.0) となる場合があります。

その場合は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを測定値欄へ記載してください。

8) 社内試験成績書 様式5 周波数区切り (機器)

お願い

様式5の衛星放送通信帯域内の規格線が同一値で連続する場合は周波数帯域の区切り周波数が分かるように、マーカー等で表現してください。

9) 自己チェックリスト 様式 15～20 (アンテナ・機器)

補足

○EM受給製品の場合、社内試験成績書 様式2または様式5を省略する事ができるとなっています。(番号4)の「該当」にチェックを行ってください。
社内試験成績書を省略した場合、自己チェックリストの社内試験成績書に関する部分(番号5)のチェックは省略してください。
またこの場合、チェックを省略した理由は記載不要です。

以上